

平成27年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成26年度実績)

担当課	12環境対策課
-----	---------

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	809	事務事業コード	1202
事務事業名	新エネルギー導入事業			開始年度	平成21	終了年度	未定	
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギー政策基本法		例規等	佐渡市クリーンエネルギー活用事業補助金交付要綱		
将来ビジョン	1. 産業の振興 (1)農林水産業の振興						H25: 重点●政策○	●
H26施政方針	1. 人口減少対策 (3)農林水産業の振興						H26: 重点●政策○	-
H27施政方針	該当無し						H27: 重点●政策○	-
事業概要	再生可能エネルギーの導入推進と既存設備の減エネルギー化によって、低炭素社会を実現し、温室効果ガスの削減を図る。 このため「佐渡市地域新エネルギー導入促進計画」に基づき、自然エネルギー等の活用及び低公害車等の普及促進をする。具体的には太陽光発電設備(上限28万円)、電気自動車(上限25.5万円)及びPHV自動車(10万円)等の購入者に対して市単独補助を行い導入を促進する。							
対象	市民等							
意図(対象をどのようにしたいか)	再生可能エネルギーについて、補助制度により普及拡大を図る。また、エネルギー利用について、減エネルギー化、CO2排出量削減とあわせて普及啓発を行い、化石燃料依存割合を減らし、持続可能な地域づくりの基礎とする。							

Do

◆将来ビジョン成長力強化戦略指標◆

項目名	戦略指標	H24現状	H31目標
販売ブランド力の構築	電気自動車及び太陽光エネルギー補助件数	57件/年	80件/年

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	25年度実績値	26年度(評価年度)		27年度目標値	28年度目標値	31年度目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	電気自動車および太陽光発電設備への補助件数	件	57	72	41	72	72	80
算式	-							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名		H25決算額	H26決算額		H27当初予算額	H28以降の予算の方向性		重点細事業
	指標	目標(成果)指標名	単位	H25実績値	目標値	実績値	H27目標値	事業の方向性	
1	BDF推進事業		427		0	360	予算	維持	
	指標	BDF精製量(H25～、民間事業所使用量)	L	14203	20800	0	12000	事業	
2	電気自動車等普及計画		2,720		1,002	2,328	予算	維持	
	指標	補助金交付数	件	10	12	6	12	事業	
3	クリーンエネルギー活用事業補助及び普及促進計画		25,382		14,323	18,623	予算	減額	
	指標	太陽光発電設置補助金交付数	件	47	60	34	60	事業	
4	充電設備等整備事業		394		5,101	0	予算	増額	
	指標	設置箇所数	箇所	7	1	1	0	事業	
事業費の合計(千円)			28,923	20,426		21,311			
財源内訳			国庫支出金	0	3,031		0		
			県支出金	0	0		0		
			地方債	23,700	10,500		13,300		
			その他	23	2,830		20		
			一般財源	5,200	4,065		7,991		

Check

◆事務事業を構成する細事業の評価◆

A : 適正である B : 検討の余地あり C : 見直しすべき

枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	BDF推進事業	B	B	B	ディーゼルエンジンの改良と共に軽油代替燃料としての利用範囲が限られてきている。BDF燃料としての用途を再検討し、普及促進に努めたい。 発電利用において、民間事業所等と研究調査を進め、災害時での燃料確保やEVへの給電が可能か検討を行う。
2	電気自動車等普及計画	B	B	B	リチウムイオン電池をはじめ、EVについては、技術革新が進んでいるが、航続距離の増加、低価格化は進んでいない状況にある。低炭素化をすすめる、市内における化石燃料の低減を図るため、EV・PHVの補助金支出による導入支援を引き続き行う。
3	クリーンエネルギー活用事業補助及び普及促進計画	B	B	A	太陽光発電のシステム価格については、全国的な普及から低下している。しかしながら、本市においては、比較的設置が進んでいない状況である。CO2排出削減を進めながら、固定価格買取制度の活用とともに、補助金支出による導入を支援していきたい
4	充電設備等整備事業	B	B	A	EV利用での不安材料となる充電場所の確保として、佐渡汽船小木港周辺への設置を行うことができた。小佐渡一周については、充電施設は十分確保されたものの、大佐渡については、不足している状況にある。設置場所の確保等を行っていききたい。

Action		◆今後の事務事業の方向性◆		
評価(担当課長)	事業の方向性	拡充	予算の方向性	増額
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策 など)	佐渡市地域新エネルギー導入促進計画の推進を図るため、クリーンエネルギー活用事業補助金を中心として、導入支援を行う。電気自動車については、導入支援と並行し、充電インフラ整備の推進を図っていく。			